



学生生活

お金・時間の余裕が実り多い将来を拓く

一人暮らしでも、私大より経済的。負担が少ない

大学生協提携アパートは本学周辺に約1,000室、月3万円台も多くあります(射水キャンパス周辺)。アパート生の平均年間経費試算合計額は、本学130万円以下。全国平均と比べても安くすみます。自宅生の小遣い平均額は月1万円ほどで、更に経済的余裕が生まれます。



大学周辺は住宅地なので、静かで便利、安全・安心です。(学生)

入学者特待生制度

(富山県内高等学校出身者向け・学部向け)

- 1年次生の入学料と授業料を免除 …(免除額: 723,800円)
- 成績優秀者は2年次生以降も授業料を免除
…(免除額: 毎年535,800円 又は 267,900円)

車通学が可能(工学部・情報工学部)

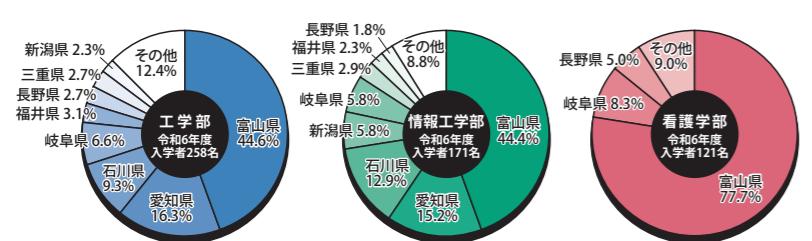
一年生から学生駐車場が利用できます

通学に、余暇活動に、将来を見据えて、時間を見活用できます。

全国からの仲間と交流できます

学生の出身地域(2024年度入学生)

(注)小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。



工学部・アパート生の年間経費試算 公私比較

	A 富山県立大学	B 東京私大	C 全国平均
授業料	約54万円	約96万円(※)	
仕送り額	約69万円	約107万円	約84万円
合計	約123万円	約207万円	約180万円

A: 2023年度富山県立大学生協調べ

B: 東京私大教連「私立大学新入生の家計負担調査」(2023年度)

C: 全国学生生活協同組合連合会「第59回学生生活実態調査」(2023)

(※) 文部科学省私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等

調査結果について

学内アルバイト(工学部・情報工学部)

本学では、学生が大学運営や教育・研究に携わる学内アルバイトもあります。

オープンキャンパスなどの受付・引率、実習授業などのTA(教育アシスタント)、学科の研究支援など、お金をもらって自らも成長する機会となります。

サークルは36と多彩
自主活動を応援します!

体育系サークル(15団体)

- サッカーチーム
- バドミントン部
- ダンスサークル
- バスケットボールサークル
- 軟式野球部
- 他



文化系サークル(20団体)

- e-sports部
- アカペラサークル
- 発明俱楽部
- 軽音楽部
- 天文部
- 他

その他(1団体)

- 学生会

保護者の皆様へ

富山県立大学 ご案内

CONTENTS

教育

教員の責任指導で
学生を伸ばす

研究

世界を変える先端研究

社会貢献

世界の先端技術に
挑む共同研究

学生生活

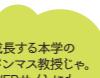
実り多い大学生活や進学は
お金や時間の余裕から



公立大学法人 富山県立大学

ウェブサイトでも最新情報を発信しています。
高校生向けのコンテンツも随時更新中! ぜひチェックしてみてください。

大学公式ウェブサイト 受験生応援サイト
<https://www.pu-toyama.ac.jp> <https://www.pu-toyama.ac.jp/special/>



SNSで最新情報を発信中!

大学公式Twitter
<https://twitter.com/toyamaprefuniv>

大学公式Facebook
<https://m.facebook.com/ToyamaPrefUniv/>

大学公式Instagram
<https://www.instagram.com/toyamaprefuniv/>



射水キャンパス(工学部・情報工学部)

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
TEL: 0766-56-7500(代) FAX: 0766-56-6182



富山キャンパス(看護学部)

〒930-0975 富山県富山市西長江2-2-78
TEL: 076-464-5410(代) FAX: 076-422-6070



あいの風とやま鉄道 小杉駅南口から、徒歩約25分(約2km)、
または射水市コミュニティバス(※)⑩市民病院・太閤山線バス乗り場6分。

※午前9時以降はAIによるオーデマンド運行(のるーと射水)となります。

小さくとも「社会を変革する大学」



オリジナリティとインパクトある
仕事や研究ができる力を

下山 敦 学長

前 東京大学IRT研究機構機構長、前 東京
大学大学院情報理工学系研究科知能機械
情報学専攻教授。専門はロボット工学。

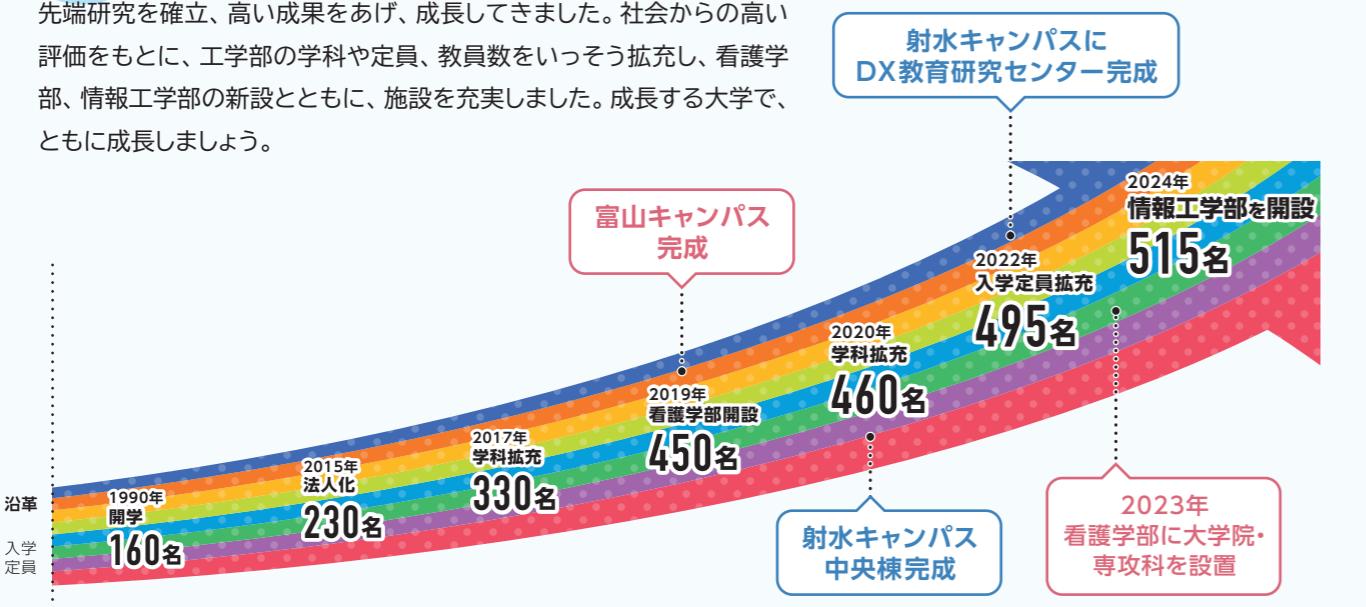
高校までの「学ぶ」は、先人の仕事のコピーを身につけることと言えます。大学や社会では学ぶとともに、日本や国際社会の課題解決につながるオリジナリティとインパクトある仕事や研究能力が求められます。本学は、そのための教育や研究の環境を整備し皆さんを支援します。社会に積極的に貢献する夢や志を持ち、大学生活を有意義に送ることを期待します。

教育

「学生を大事にする大学」

進化・成長を続ける大学で成長しよう

本学は、設立当初からの志と先見の明のもと、学生を大事にする教育や先端研究を確立、高い成果をあげ、成長してきました。社会からの高い評価をもとに、工学部の学科や定員、教員数をいっそう拡充し、看護学部、情報工学部の新設とともに、施設を充実しました。成長する大学で、ともに成長しましょう。



工学部

「工学心」を持った人材を育成します

1.少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れています。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「トピックゼミ」、3年次には「プレゼンテーション演習、専門ゼミ、卒業研究1、4年次では研究室での「卒業研究、卒業研究2」を行います。また、各学科で行われている学生実験も少人数教育を意識したグループ構成で実施されています。

3.基礎知識・基礎技術の確実な修得

全ての学年のカリキュラムに、実験や実習・演習を多く設け、学生が自らの力で未知の分野の技術を開拓する応用能力の育成を図っています。

5.学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的かつ体系的なプログラムを実施しています。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実なキャリアを形成していく力の向上を支援します。

4.学部・大学院を通じた連携教育体制の確立

学部・大学院(博士前期課程)の6年一貫教育を意識した体系的なカリキュラムを確立。大学院のMOT(技術経営)科目などを学部生にも開放し、より高度な職業人の育成に取り組んでいます。

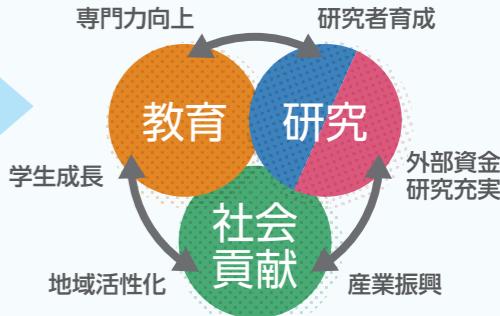
6.体系的な環境教育プログラムの実施

持続可能な社会の実現に向けて、「環境への幅広い視野と倫理観」を備えた工学技術者を育成するため、導入教育から専門教育に至るまでの体系的な環境教育プログラムを実施しています。

理想の大学を富山に実現

藤井澄二初代学長は、MIT・東京大学・東京電機大学での経験をもとに「学生を大事にする大学」「地域社会に貢献し、世界に発信する大学」を創ろうと考えました。それから30余年、3学部9学科をもつ大学になりました。さらに、社会の持つ課題を解決し生活の質向上に貢献する大学、学生が専門性と社会課題解決能力を身につけられる大学に成長しています。

教育・研究・社会貢献の3使命を実践し相乗の成果をあげる



入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)及び卒業時の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に基づいた教育体制により、学生の資質を大きく伸ばし社会に送り出すことをめざした先進的な大学です。

情報工学部

未来社会を創造するデジタルのエキスパートへ

1.データサイエンスの専門教育

データサイエンスとは、数学、統計学、機械学習、データマイニングなどの理論を用いてデータの分析や解析を行い、新しい価値を見出す学問分野です。情報工学部ではデータサイエンスに関する様々なカリキュラムを導入し、専門知識を習得した人材の育成を図ります。

3.デザイン思考による課題発見解決力

デザイン思考とは、利用者の潜在的課題を顕在化させ、仮説・検証を繰り返し試行することで解決策を発見しようとする思考法です。高度な技術開発を目指すだけでなく、この手法を身につけることで、これまでにない視点・柔軟な発想力・多様性を備えた、利用者の真の課題解決に取り組む技術開発者・研究者を育成します。

5.人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける「クサビ型カリキュラム」の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図ります。

看護学部

学生の看護力を最大限に伸ばします

2.少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れます。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「デザイン思考」、3年次には「実践デザイン思考、プレゼンテーション演習、卒業研究1」、4年次では研究室での「卒業研究2」を行います。

4.企業の技術者との連携授業

企業や官庁などで活躍されている方々を講師として招き、世の中の動きや経験、社会人になる前に身につけておくべき重要事項の講義を通じて、学生自身のキャリアの確立や職業観形成を支援します。

6.学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的なプログラムを、3年次に実施します。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実にキャリアを形成していく力の向上を支援します。

1.「自ら学ぶ力」を身につける

少人数によるグループ学修やアクティブラーニングなど、主体性を持って協力して課題に対応する学び方を多く取り入れます。また、豊富なeラーニング教材を用いて、学生が自ら学ぶ姿勢を支援します。専門的な知識・技術の修得はもちろん、物事を多様な観点から考察する能力や創造性を養います。

3.工学的な視点を「看護」の世界へ

看護学・工学連携科目を配置し、工学的視点を取り入れた人にやさしい看護学について学び、新時代の看護師を目指します。

5.さらなるステップアップの道へ

看護学を研究するための「大学院看護学研究科」及び保健師・助産師を養成する「専攻科」を2023(令和5)年4月に開設しました。看護学部卒業後も継続して本学で学び続けられます。

看護学と工学の連携

看護学部では、看護学に工学的視点を取り入れ、「経験や勘」に頼る部分も多い看護ケア技術を、工学の力を使って「見える化」し、理論的に学びます。



岡本恵里 教授
(看護学科)

工学の力を借り、私たちの技術がどのような成り立ちか分析していく。学生たちにしっかりととした理論を伝えるには、工学との連携が不可欠だと思います。



研究

世界を変える先端研究

工学部

▼研究例

機械システム工学科

定員60名



- エネルギーの輸送・変換・利用技術
- 情報機器や生産機械を構成する材料の強度
- 機械製品のライフサイクル設計
- 軽金属・高分子・複合材料の開発など

▼講座例

熱流体工学講座

宇宙ロケット、医療機器、電子機器、コンピュータ、冷凍空調機械など、先端機器における各種エネルギーの変換や流れの力学に関する研究に取り組んでいます。



電気電子工学科

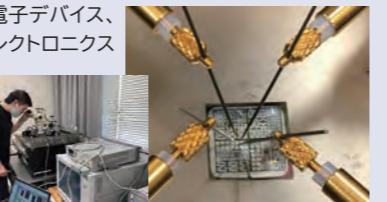
定員45名



- 半導体集積回路の設計技術
- イメージセンサの開発
- 次世代パワー半導体の開発
- システム制御技術など

電子デバイス工学講座

半導体集積回路、機能性電子デバイス、センサデバイス、パワーエレクトロニクスデバイス等のデバイス作製に関する材料・技術の開発や、電子回路やシステムに関する研究を行っています。



環境・社会基盤工学科

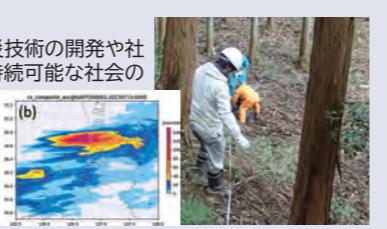
定員55名



- 水・大気・土壤環境の調査・分析、評価
- 自然と調和した地域デザイン
- 災害に強い社会基盤を作る理論と技術
- 再生可能な新エネルギーの開発など

社会基盤工学講座

大規模災害に対応した防災技術の開発や社会基盤施設の維持管理、持続可能な社会の形成に向けた地域計画の立案を主な対象として、新しい視点と広い視野を持つ建設技術者の育成を目的とした研究・開発に取り組んでいます。



生物工学科

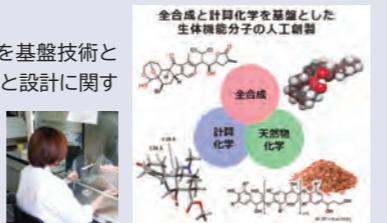
定員40名



- バイオテクノロジーを駆使した医薬品および診断法の開発
- 微生物・植物による有用物質生産
- 疾病予防に有効な食品成分の機能に関する研究
- 有機化学および応用微生物学に基づく医薬探索・開発研究など

生物有機化学講座

有機合成化学と計算化学を基盤技術とした、生物活性物質の合成と設計に関する研究を行っています。



医薬品工学科

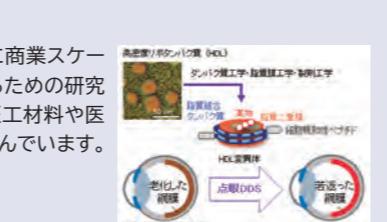
定員35名



- 医薬品の分子設計・製剤化・品質管理
- バイオ医薬品の製造
- 医薬品関連材料の設計・製造
- 医薬品の体内動態・代謝・副作用
- モデル動物等を用いた疾患の解明など

製薬化学工学講座

医薬品を、安全、安定的に商業スケールで生産できるようにするための研究や、新しい医薬品・生体医工材料や医療デバイスの開発に取り組んでいます。



情報工学部

データサイエンス学科

定員40名



- 能率的な学習方法を支援する技術開発
- 自律移動ロボット知能の開発と評価
- データサイエンスに基づく意思決定支援のための基盤技術
- ビッグデータ分析による交通事故要因の分析と予測など

システム数理学講座

システム情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や数理にもとづいた先進・融合的汎用的なデータ分析基盤の研究を行っています。



研究

日本の看護ケアを変える看護学部

定員120名

魅力

必要な能力

身に付けるための教育

本学の特色ある講座

1 看護ケアと工学(2年次)

看護ケアが患者・看護師の身体や心に与える影響を、看護学と工学の両方の視点から学び、人にやさしい看護学について考えます。



2 トピックゼミI~IV(1~2年次)

1年次から、少人数でグループ学修し、コミュニケーション能力や表現力を高めます。

3 看護ケアとユマニチュード I~IV(1~4年次)

フランス発祥の知覚・感情・言語のコミュニケーションによるケア技法を、日本の大学で初めて、学部4年間を通じて学びます。



4 フィジカルアセスメント(1年次)

身体診察技法は、人々の健康レベルを把握し、適切な医療やケアに結びつけます。

5 多職種連携論(4年次)

チーム医療での多職種の機能と看護の役割、在宅医療や地域包括ケアで協働できる能力を身につけます。

全国初! 4年間を通した体系的なユマニチュードの教育

創始者 ジネスト先生による4日間の集中講義

医療現場でも注目されているユマニチュード (Humanitude®) とは、フランス人イヴ・ジネスト氏らが創始し、東京医療センターの本田美和子医師が日本に導入した画期的なコミュニケーションケア技法です。基本的な技術である「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを活用すると共に、相手と良い関係を結ぶための「5つのステップ」を大切にしています。



ドアや机などをノックして自分が来たこと知らせる「出会いの準備」。相手が気付いたら近づき、目を合わせてあいさつをすることで良い関係を結ぶ「ケアの準備」。ケアの同意が得られたら、「あなたの事を大切に思っています」というメッセージを伝えながらケアを行う「知覚の連結」。ケアを終えたら、と共に過ごしたよい時間を振り返る「感情の固定」。最後に、次に訪れるることを約束し次のケアへつなげる「再会の約束」。



すべてのステップで、「見る」「話す」「触れる」の技術のうち2つ、できれば3つを同時に行います。この包括的コミュニケーション技術によって、話ができなかった人が「ありがとう」と言ってくれるようになる、食事がすすまなかつた人がおいしそうに食べるようになるなど、「その人らしさ」を取り戻すことができています。

本学では、ユマニチュードの技法を学ぶため、フランスからイヴ・ジネスト先生をお迎えし、5日間の集中講義で直接指導を行います。

情報工学部

情報システム工学科

定員60名



- センサ利用技術・ソフトウェア応用技術を利用した高度な情報システム
- 人の行動や活動の認識・変容技術
- 3次元情報取得などの高度な映像処理・表示技術
- モノやコトが生み出す膨大なデータを解析・提示する仕事など

情報基盤工学講座

センサ利用技術・ソフトウェア応用技術を利用した高度な情報システムや、人の行動や活動の認識・変容技術、3次元情報取得などの高度な映像処理・表示技術に関する研究を進めています。



知能ロボット工学科

定員60名



- 知的な福祉・看護支援ロボットなどの研究
- 柔軟で優れたインターフェースの研究
- 先端医療などに貢献する知的計測技術研究
- 人と協調する知的な情報システムの研究など

知的インターフェース工学講座

視覚・聴覚・音声・ジェスチャなど、人の柔軟で優れた情報処理を解明し、コンピュータやロボットを人のように賢くするインターフェースの研究を行っています。



情報工学部

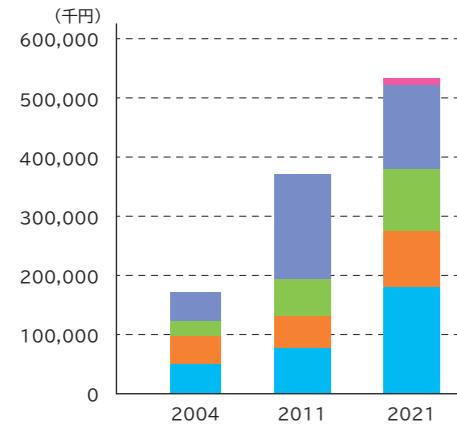




世界の先端技術に挑む受託・共同研究

世界や地域に貢献する研究拠点として

■本学先端研究への評価と期待 外部資金が大幅増加



受託研究、共同研究など、本学の先端研究への期待は高く、2023年度は国内外の大学・機関・企業等から350件以上、4.5億円以上の外部資金を受け、先端研究開発の充実はもちろん、院生の国際会議発表の旅費にも充てています。

中でも、受託研究費は、18年間で約2倍以上に伸びており、本学の研究力の高さを示しています。

■産業振興とともに、先端研究や教育に成果

- 教員の先端研究の推進や、学生の教育の向上に大きな成果が生まれる
- 企業や研究機関、自治体やNPOなど、社会に大きな貢献ができる



DX教育研究センター



2022年4月にDX教育研究センターの供用を開始しました。DXとはデジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用することにより社会に変革をもたらし、人々の暮らしをより良くするという概念です。射水キャンパスにDX教育研究センターを新設し、地域社会はもとより広く人々の生活を支援するための人材教育や高度な研究を推進します。センターでは、最新の機器の活用により最先端の教育や研究に携わることができ実社会で活躍する優秀なDX人材を育成します。

地域協働授業

各年次の少人数制必修ゼミにて、教員ごとに異なる様々な地域テーマに取り組んでいます。

小杉まちづくり協議会(射水市)
×小林教養ゼミ

地域の古写真をAI活用ソフトでカラー化し写真展を開催しました。



エフエムいみず
×井戸教養ゼミ

地元のラジオ局と協働し、年末の特別音楽番組の企画制作を続けています。



小学校(射水市)
×岩井専門ゼミ

射水市内の小学校で、ドローンを使ったプログラミング体験教室を行いました。



なんとSDGsパートナー
×中村(秀)専門ゼミ

南砺市と協働し、市内でSDGsに取り組む企業や団体を取り扱い、Webでの紹介記事を作成しました。



富山県立大学に入学してよかったですと思うこと(在学生に聞く)

富山県立大学に入って良かったと思う点は?

機械システム工学専攻 大学院2年生 伊藤 大翔さん
愛知県 | 一宮西高等学校出身

高校生の時、私は大学の授業は専門用語ばかりが飛び交い、難しいのではないかと思っていました。ただ県大では基礎をしっかり教えてくれるので、心配していました。わからないところがあれば、授業の後すぐに先生のもとに行き、質問しています。先生は私がどこで躊躇しているかを理解した上で、教えてくださいます。おかげで学ぶことが好きになりました。

富山県立大学を志望した理由は?

知能ロボット工学専攻 大学院1年生 中川 莉那さん
富山県 | 富山東高等学校出身

県大の特徴のひとつに、少人数教育と教員と学生の距離が近いことが挙げられます。私はこの学びの環境に興味を持ち、充実した教育を受けたいと思い志望しました。そしてその中で学び、学問的にさらに深めることを期待して大学院に進学しました。

今どんな研究に取り組んでいますか?

電気電子工学科 4年生 阿部 綾菜さん
富山県 | 滑川高校出身

半導体はシリコン製のものが主流ですが、素子の特性を改善したパワーデバイスのひとつSiC MOSFETの開発や評価に取り組んでいます。こうした半導体は今後需要が高くなることが予想され、そういう研究に、研究室に属して学生のうちから携わることができて良かったと思います。

今どんな研究をされていますか?

電子・情報工学専攻 大学院1年生 山田 無双さん
愛知県 | 江南高校出身

現状では特殊なメガネ(3Dメガネ)をかけてディスプレイなどの画像を立体的に見ていますが、メガネをかけなくても立体的に見える裸眼立体ディスプレイについて研究しています。画面の中に、物体が存在するように見せることに、おもしろさを感じています。

富山県立大学を志望した理由は?

環境・社会基盤工学科 4年生 遠藤 心和子さん
岐阜県 | 関高校出身

家の間取りについて考えることが好きだったので高じて、建設・建築に関心を持つようになりました。それでその分野の勉強をしたいと思い進路を真剣に考えた際、環境保全も合わせて学ぶことのできる富山県立大学に魅力を感じました。また県大が実施している少人数教育は自分に合うと思いました。

富山県立大学を志望した理由は?

生物工学科 4年生 柴田 萌乃華さん
福井県 | 仁愛女子高等学校出身

富山県は「薬のとやま」として知られ、製薬会社が多く、製薬に関するノウハウが蓄積されています。そういう中で開発された薬も多く、製薬に関する知見が豊富な富山で薬のことを学びたいと思い本学を志望しました。私は、微生物の力を応用した薬の開発に関心があり、将来その分野で活躍できたらと願っています。

医薬品工学科を志望した理由は?

生物・医薬品工学専攻 大学院1年生 中西 伶奈さん
兵庫県 | 西宮東高等学校出身

中学生の頃から、将来は薬の開発に携わりたいと思いました。高校3年生になって志望校を具体的に検討し始めた時、塾の先生から、「富山県立大の医薬品工学科は、薬の成分から、剤形、製造、包装まで一貫して学べる、他ではあまり例をみない学科だ」と教えていただき、志望しました。薬学と工学の両面から薬の開発について学ぶことができ、良かったと思います。

看護学科を志望したわけは?

看護学科 4年生 長森 蘭さん
石川県 | 小松高校出身

子どもの頃よく病気をして、病院に連れて行ってもらいました。病院では様々な医療関係者が患者のために働いており、そこから医療に関心を持ちました。中でも私の目をひいたのは、看護師です。患者のそばに長く寄り添い、励ましておられました。そこから看護師になりたいと思い、看護学科を志望しました。

